

宇治市 上下水道だより

令和3年10月1日
宇治市上下水道部発行
〒611-8501 宇治琵琶33
TEL 0774-22-3141(代表)

水道は生活に欠かせない重要なライフラインです。蛇口をひねれば当たり前のようにきれいな水が出てきますが、その水を届けるためには、昭和40年以降の人口急増期に整備されて老朽化した施設を更新し、地震等の災害に耐えうる施設の整備が必要となります。



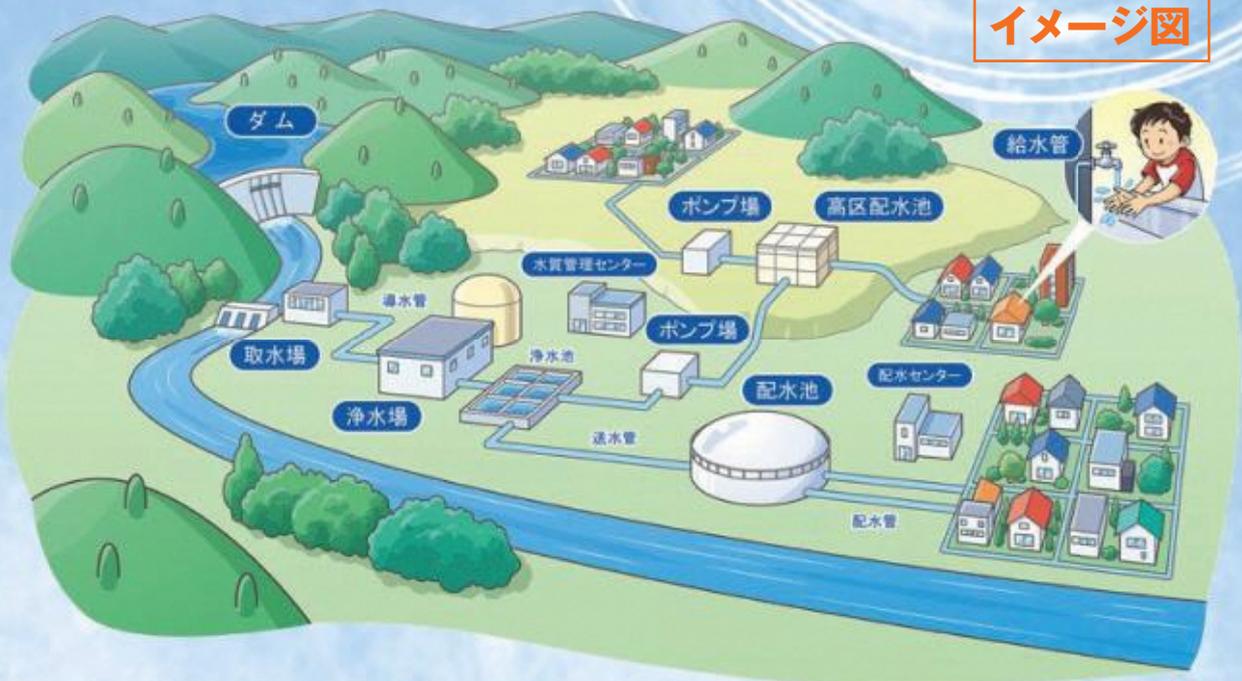
広野町浄水場を整備（令和2年度）



破損した水道管の漏水

＊水が家庭に届くまで

水道水は、取水した水を浄水場できれいにし、配水池に溜めてから、水道管を通してご家庭や事業所などへ届けています。宇治市の水道管は全長約700kmあり、京都府→岩手県間の直線距離に相当します。



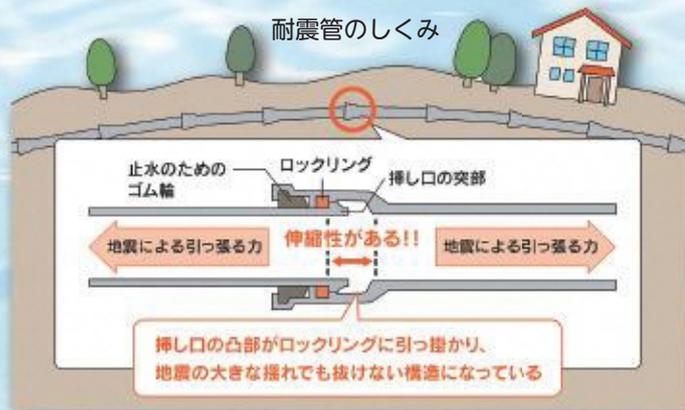
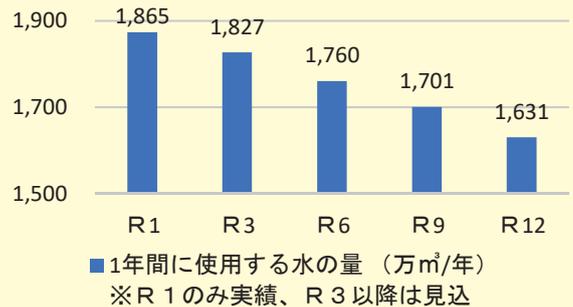
＊自己水が3割、府営水が7割

宇治市の水道水は、地下水や宇治川の下を流れる伏流水からなる「自己水」と、京都府営水道が宇治川（天ヶ瀬ダム）から取水する「府営水」（府から購入）で成り立っており、概ね自己水30%・府営水70%の割合となっています。2つの水源をもつことによって、災害時などのリスクを大幅に軽減することができます。

*これからの水道事業は

使用水量が
減少する見込みです

人口の減少や、節水意識の高まりなどによって使用する水の量は減少していく見込みです。



水道施設を
更新・耐震化します

水道施設の老朽化への対応や、地震などの災害に備え、浄水場や配水池の更新・耐震化を進めています。また、水道管などを耐震性能があるものに更新しています。

京都府営水道においても、老朽化した水道施設の更新・耐震化をしています



*「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」の策定

将来にわたって安全・安心な水道水を届けるため、令和3年度から10年間を計画期間とした「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」を策定しました。これからも水道施設の更新・耐震化を進めながら、効率的な健全経営を目指していくために、宇治市水道事業経営審議会において、水道料金を含めた持続可能な水道事業の具体的施策について、検討を進めています。

宇治市HPに
掲載しています



* 公共下水道事業からのお願い *

各ご家庭で使用された水をきれいにして河川等へ放流するため、下水道が使用可能になった日から3年以内に接続工事をお願いしています。未接続の方は公共下水道への早期の接続工事をお願いします。